

オランダ総選挙の結果について

- ① オランダで15日に実施された総選挙は、与党が議席を減らした一方、自由党も第一党を逃しました。
- ② 自由党が掲げる反移民、EU 離脱などの過激な排外主義は十分な支持を得られませんでした。
- ③ 一方、現政権の財政緊縮路線への批判もあり、今後は第三の道を探る必要性が出てきたと見られます。

中道勢力に票が分散

15日、オランダで総選挙(第二院[下院])が実施されました。反移民やEU(欧州連合)からの離脱を主張する自由党が支持を伸ばし、昨今の欧州全体を覆うEU懐疑派の勢いを試す選挙として注目されていました。

ほぼ開票が終えた現時点では、与党でルッテ現首相が率いる自由民主党が前回から8減の33議席ながら第一党を維持、連立相手の労働党は

27減の惨敗で9議席となり、連立与党合計では79議席から42議席へ大幅減です。一方、自由党は5増の20議席ですが、第一党には及ばず、過激な排外主義は十分な支持を得られませんでした。こうした中、票はキリスト教民主アピールや民主66などの中道勢力に分散した形となりました。

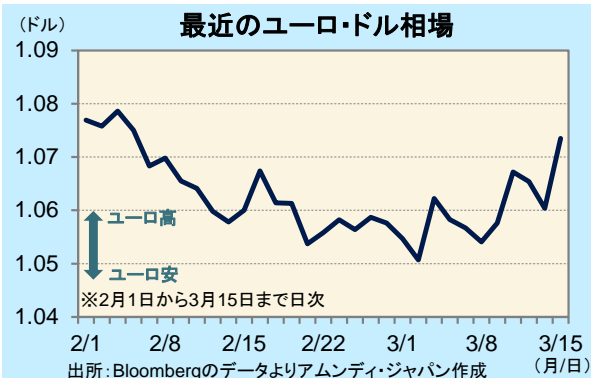
◇オランダ総選挙の速報(開票率:93.3%)

党名	政治的思想・立場	前回 2012年	今回 2017年
自由民主国民党	中道右派 市場自由主義	41	33
労働党	中道左派 社会民主主義	38	9
自由党	右派 保守自由主義	15	20
社会党	左派 民主社会主義	15	14
キリスト教民主アピール	中道右派 宗教民主主義	13	19
民主66	中道左派 社会自由主義	12	19
キリスト教連合	中道左派 宗教民主主義	5	5
緑の党	中道左派 環境保護主義	4	14
カルビン党	右派 社会保守主義	3	3
動物の党	左派 環境保護主義	2	5
50プラス	中道 ホビュリスム	2	4
民主主義のためのフォーラム	-	-	2
DENK(THINK)	-	-	3

出所:各種報道よりアムンディ・ジャパン作成

市場にはひとまず安心感

次期政権は、再びルッテ現首相を中心に連立を模索することになるでしょう。ただ、過激な排外主義が支持を得られなかったと同時に、ルッテ政権が進めてきた財政緊縮優先の政策に対する批判も強かったと思われます。本来なら、社会福祉充実(大きな政府)を推進すべき連立相手の労働党が、大きく支持を失ったことは象徴的です。今後は、議席を伸ばした他の中道勢力とも連携し、より穏健な政策スタンスを模索する必要性が出てきたと思われます。



市場では、EU 懐疑勢力の支持拡大に歯止めが掛かったとして安心感が広がり、為替市場ではユーロが値を戻しました。同日、FOMC(米連邦公開市場委員会)が利上げを決定し、材料出尽くしでユーロ高に振れていましたが、最初の出口調査が発表された日本時間の早朝にはもう一段ユーロが上昇しました。日中はほぼ横ばいとなり、大きな動きにはなりませんでした。

当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時:購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時:信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時:運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

<ご注意>

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第350号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想、意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。